

2024 年度 基礎研修 I のご案内

基礎研修は、日本社会福祉士会が定める生涯研修制度の「基礎過程」に位置づけられている研修であり、群馬県社会福祉士会に入会して始めに受ける研修となります。

基礎研修は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの三段階で構成されており、社会福祉士として必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としています。

新しく会員になられた方、旧生涯研修制度で共通研修課程修了報告を一度もされていない方は、基礎研修Ⅰが社会福祉士としての自己研鑽のスタートとなります。是非、ご参加ください。

◇基礎研修は、認定社会福祉士制度の認証研修(認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修)です。

基礎研修の受講を開始した年度を基準年度とし、6年以内に基礎研修(基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲ)を修了すると、認定社会福祉士制度における認定社会福祉士の取得申請に必要な必須単位(10単位)を取得できます。

◇基礎研修は、ばあとなあ群馬が主催する「成年後見人材育成研修」の受講要件です。ばあとなあ群馬に名簿登録を希望される方は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの修了が必要となります。詳細については、権利擁護センターばあとなあ群馬までお問い合わせください。

※地震や台風などの災害時や新型コロナウイルスの蔓延状況等により急遽中止・延期になる場合があります。その際は、本会ホームページにおいて研修前日までにお知らせ致します。

※基礎研修受講料の変更について

他都道府県社会福祉士会が実施する基礎研修の受講料とのバランス、オンライン研修実施に伴う人件費・運営費が増加したことなどを鑑み2022年度より非会員及び再受講に係る受講料を変更することと致しました。

※感染症及び災害等への対応について

感染症の拡大や自然災害などにより、会場での研修開催が困難となった場合は、Zoom ミーティングを使用したオンライン開催に変更となる場合があります。

[お問い合わせ先]

一般社団法人 群馬県社会福祉士会事務局

住所: 〒371-0843

群馬県前橋市新前橋町 13-12 群馬県社会福祉総合センター7階

TEL:027-212-8388 / FAX:027-212-7260

e-mail info@gunma-csw.or.jp

2024 年度 基礎研修 I 開催要項

対 象 群馬県社会福祉士会会員(入会予定・手続き中の方も含む)
群馬県に在住または在勤の非会員の社会福祉士等

研修日程 2024年10月5日(土)～2025年2月8日(土) 全2日間

研修内容 *別紙:研修日程・プログラム参照

会 場 群馬県社会福祉総合センター *詳細は別紙:研修日程・プログラム参照

受講料 会 員:10,000円 / 非会員:25,000円 (テキスト代・ワークブック代込、税込)
再受講:1科目につき3,000円
*但し、2023年度群馬県社会福祉士会基礎研修受講者は再受講分に限り無料

申込方法 群馬県社会福祉士会事務局まで申込フォーム([二次元コード](#)または[群馬県社会福祉士会ホームページ](#))からお申し込みください。

URL:<https://www.gunma-csw.or.jp/training1>

併せて、受講料を振り込みしていただくことで参加申込みを受理致します。振込み手数料についてもご負担願います。

[受講料振込先]

銀行名 群馬銀行 支店名 県庁支店 口座番号 0467385
口座名義 シャ)グンマケンシャカイフクシシカイ



申込締切 2024年7月17日(水)必着

受講決定 申込み締切り後、受講決定を行ない、受講決定の可否をメールにてお知らせ致します。

定 員 50名 *群馬県社会福祉士会会員を優先いたします

留意事項 ①研修日程及び講師・ファシリテーターは変更になる場合があります。
②テキスト及びワークブックがない場合、受講できない可能性があります。
③修了要件
・事前課題等を期日までに全て提出していること
・指定された科目について e-ラーニングを期日までに受講(視聴)すること
・集合研修を全て受講すること(15分以上の遅刻及び10分以上の中座、欠席、早退は受講と認められない)

2024 年度 基礎研修 I 研修日程・プログラム

会場：群馬県社会福祉総合センター

日程	時間	プログラム	形態	会場
視聴期限 2024. 9. 25 (水)		社会福祉士のあゆみ	講義	e-ラーニング
		日本社会福祉士の組織	講義	e-ラーニング
		生涯研修制度	講義	e-ラーニング
2024. 10. 5 (土)	10:00~10:20	ガイダンス		701 会議室
	10:20~10:50	群馬県社会福祉士の組織	講義	
	11:00~13:30	社会福祉士の専門性について考える	演習	
	13:30~13:45	事務連絡		
	14:30~16:30	先輩社会福祉士に聞く (事前課題 4 作成のための座談会)	座談会 <u>(任意参加)</u>	
視聴期限 2025. 1. 29 (水)		社会福祉士に共通する専門性の理解	講義	e-ラーニング
		倫理綱領・行動規範の理解	講義	
2025. 2. 8 (土)	10:00~13:00	社会福祉士の倫理綱領の実践適用	演習	203AB 会議室
	13:00~13:15	事務連絡、アンケート記入		

e-ラーニングについて

群馬県社会福祉士会では、基礎研修 I の一部に e-ラーニング視聴による受講を取り入れています。e-ラーニングの対象となるのは以下の科目です。

- 生涯研修制度独自科目 基礎研修 I 「社会福祉士のあゆみ」(60 分)
- 生涯研修制度独自科目 基礎研修 I 「日本社会福祉士の組織」(30 分)
- 生涯研修制度独自科目 基礎研修 I 「生涯研修制度」(90 分)
- ソーシャルワーク理論系科目 I 「社会福祉士に共通する専門性の理解」(90 分)
- 権利擁護・法学系科目 I 「倫理綱領・行動規範の理解」(90 分)

e-ラーニングの視聴が基礎研修 I の集合研修の受講要件となります。

受講者は、指定された期日までに、各科目のうち対象となるコンテンツを視聴し、受講証明書を発行してください。※受講証明書の印刷及び群馬県社会福祉士会事務局への送付は必要ありません。

※e-ラーニングの視聴方法については、受講決定通知とあわせて送付する「日本社会福祉士会 e-ラーニング講座案内マニュアル」をご覧ください。

会員外の方の視聴については、下記 URL から「[視聴を希望する方はこちら](#)」をご確認ください。

※日本社会福祉士会 e-ラーニング講座

URL:<https://www.jacsw.or.jp/csw/eLearning/index.html>

事前課題について

ワードやエクセルで作成する場合は、基礎研修専用 Google ドライブから書式をダウンロードしてご使用ください。

群馬県社会福祉士会 基礎研修専用 Google ドライブ

URL:<https://bit.ly/3TXAdcp>

手書きで作成の場合は、上記 Google ドライブ内の原稿用紙(手書きを希望の方へ>原稿用紙)を印刷してご使用ください。

テーマ、受講番号、氏名を記載のうえ、指定文字数の範囲内でレポートを作成してください。

事前課題の提出については、メール、FAX または郵送にて群馬県社会福祉士会事務局まで送付ください。

(事前課題①) 課題提出日：2024年9月25日(水) 必着

科目名	テーマ	内 容	文字数等
生涯研修制度独自科目 事前課題 1	社会福祉士の役割について考える	「生涯研修手帳」を読み、生涯研修制度の概略を理解してください。その上で、社会福祉士としての専門性について、あなたの考えをまとめ生涯研修制度を通じてどのような研鑽を進めるかを、1200 字程度でまとめてください。	1200 字程度
SW 理論系科目 I 事前課題 1	社会福祉士としての専門性について考える	「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を読み、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて、800 字程度でまとめてください。	800 字程度

- 1 レポートの文字数は、規定の前後 2 割まで有効とします。
- 2 提出用以外に、必ず控えを取っておいてください。
- 3 文字数はいずれもスペースを含めない文字数でカウントしてください。
- 4 提出物はできる限りまとめて送付ください。

(事前課題②) 課題提出日：2025年1月29日(水) 必着

科目名	テーマ	内 容	文字数等
SW 理論系科目 I 事前課題 2	社会福祉士に共通する専門性の理解	基礎研修テキスト上巻 P10~P25「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながらまとめてください。	1200 字程度 ×1 つ
SW 理論系科目 I 事前課題 3	所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ	所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話しを聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織に現状と課題についてまとめてください。 ※この課題をまとめるにあたっては、職場の先輩社会福祉士等にソーシャルワーク機能や社会福祉士の役割を必ず聞いてください。話を聞く方は、社会福祉士会会員の方でなくても構いません。	1200 字程度 ×1 つ
SW 理論系科目 I 事前課題 4	所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ	他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を所属組織以外の施設や事業所（独立型社会福祉士を含む）で活躍している先輩社会福祉士から話しを聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、それぞれまとめてください。(2 箇所以上) ※取り上げた実践現場については、訪問前に位置づけなどを調べておいてください。 ※「他領域とは」、「他分野」で働く社会福祉士に話しを聞くことを想定しています。	1200 字程度 ×2 つ (現在所属がない方はこちらを 3 つ作成してください。)
権利擁護・法学系科目 I 事前課題 1	倫理綱領・行動規範の理解	あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2 つの項目を取り上げ、あなたの実践を考察してください。	1 項目につき 1200 字程度 ×2 つ

- 1 レポートの文字数は、規定の前後 2 割まで有効とします。
- 2 提出用以外に、必ず控えを取っておいてください。
- 3 文字数はいずれもスペースを含めない文字数でカウントしてください。
- 4 現在所属組織がない方は、事前課題 4 を 3 箇所にして提出してください。
- 5 提出物はできる限りまとめて送付ください。
- 6 事前課題 4 作成のための座談会「先輩社会福祉士に聞く」(任意参加) を、初日の集合研修後に開催します。